

## 第46回経営協議会議事概要

日時 平成24年1月20日（金）15時30分～16時40分  
場所 事務局特別会議室  
出席者 中村（議長）、脇坂、古川、田中、生田、山崎、山本、笠井、石田、川本、國澤、坂根、新木、中川  
陪席者 長野、樫見、櫻井、濱田、小笠原  
欠席者 森、山岸

### 1 前回議事確認

第45回経営協議会（12月16日開催）

### 2 協 議

#### (1) 中期目標・中期計画の変更について

議長から、平成24年度の大学院改組に伴い、中期目標・中期計画を変更する必要が生じたことについて説明があった後、情報担当理事から、[資料1]に基づき、詳細説明が行われ、承認された。

#### (2) 国立大学法人金沢大学規則の改正について

- ① 議長から、現行の同規則において明示されていない役員会の開催要件、議決要件等を新たに規定することについて説明があった後、総務・人事担当理事から、[資料2-1]に基づき、詳細説明が行われ、承認された。
- ② 議長から、教育研究評議会の構成員として新たに附属図書館長を加えることについて説明があった後、総務・人事担当理事から、[資料2-2]に基づき、詳細説明が行われ、承認された。

#### (3) 先端科学・イノベーション推進機構（案）の設立について

議長から、イノベーション創成センターとフロンティアサイエンス機構を見直し、新たな組織として先端科学・イノベーション推進機構を設立することについて説明があった後、研究・国際担当理事から、[資料3]に基づき、詳細説明が行われた。その後、同機構に対し、以下の意見が述べられた。

- ・ スタッフ数から考えるとアドミニストレーション部門がやや細切れな感じを受ける。業務については、多能工的に分担するようにし、セクショナリズムに陥らないようにしてほしい。
- ・ 日本における産学連携は研究開発に関する業務が中心であり、大学それぞれの特徴が明確になっていない。また、大学においては一定の分野に資源を集中することに対して、抵抗する風潮があるように聞いている。  
今後の産学連携においては、金沢大学でこんなことが学べるというような差別化を前面に出し、選択と集中化を徹底的に行わないと特色あるものにならないのではないか
- ・ 同機構に対し、期限を設けて、どこにどのように重点を置くかを定める、いわゆるテーマと納期を設定すればどうか

以上の意見を受け、先端科学・イノベーション推進機構の設立については、部門間のセクショナリズムを排除することを条件として、承認された。

### 3 報 告

#### (1) 平成24年度政府予算案について

財務・附属病院担当理事から、[資料4]に基づき、平成24年度予算案について、概要説明があった後、財務企画課長から本学に関連する事項を中心に詳細説明が行われた。

その後、議長より国立大学改革強化推進事業経費の獲得に関し、全力を挙げて取り組む旨の発言があった。

#### (2) 看護師確保のための対策について

財務・附属病院担当理事から、[資料5]に基づき、前々回（平成23年11月22日開催）及び前回（平成23年12月16日開催）で審議・承認された看護師確保のために行った処遇改善の影響、今後の採用等の予定について報告があった。

#### (3) 大学ランキングについて

議長から、[机上資料配布]に基づき、中国・上海交通大学が発表している「ARWU (Academic Ranking of World Universities) 世界大学ランキング2010」（科学力に重点を置いた評価）における本学の順位について説明があった。

次回開催予定

第47回経営協議会 3月15日（木） 15時30分から